

H. P. Report

インターネット常時接続 (3)

常時接続でインターネットがどう変わるのでしょうか。まずメールとWebブラウザの使い勝手が格段に向上します。例えばメールの場合、常に（といっても1分から5分間隔ですが）メールの着信を確認することができますから、携帯電話のメールのように、メールが来たら送ってくるわけではないので完全リアルタイムではないにしろ電話のようにメールをやり取りするということができるようになります。Webブラウザについてもこれまでは時間を気にしながら見ていたものが自由に見れるわけですから、宿泊施設や飛行機の予約、テレビ番組表や渋滞情報、新聞や雑誌の情報などが内容を読みながら利用することができます。それよりも大きく変わるのが常時接続ならではの利用方法です。例えば、「インスタントメッセンジャー」です。このソフトはネットに接続しているユーザ同士でリアルタイムにメッセージをやり取りするためのソフトで、主にメッセージをやり取りするものですが、マイクロソフトの「NetMeeting3.01」ではファイルやパソコンに接続したマイクやCCDカメラを使って音声や画像をやり取りすることができます。まるでテレビ電話のような使い方、確かにISDNの64kbpsでは画像も粗くコマ落ちすることも考えられますが、それでも使えるレベルにはあります。その他に、WinMeのときにも書きましたが、新しいメディアプレーヤではラジオチューナーがサポートされており、日本を含め世界中のラジオを聞くことができるので、ラジオを聞きながらの作業も行えることになります。また、サービスが始まれば、ニュースをリアルタイムに読んだり、世界中の大学の授業を聴講したりすることができるようになります。この様に常時接続ではこれまでとは違ったネットの楽しみが行えるようになるのですが、これまでの従量制の課金の生活からはなかなか抜けられないこともあるかもしれません。

常時接続はこの様ないいことばかりではありません。常時接続にはこれまでとは違う注意も必要になります。それがセキュリティです。確かにこれまではWebサーバを立ち上げたりしなければ普通に使う上ではあまりセキュリティを考慮していませんでした。しかし、常時接続することによって外部からの侵入がありうるようになります。また、常時接続できることによってプライベートに使用する目的でパーソナルWebサーバを立ち上げ外から自分のパソコンのファイルにアクセスできるようにする場合は注意が必要になります。また、サーバを立ち上げなくても、最も注意しなければならないのがコンピュータウィルスで、ファイルをダウンロードしなくてもアクセスするだけで自動でダウンロードとなり内部に侵入し、HDDの内容が書き換えられたり、メールの内容が読まれたり、パスワード情報を外部に送り出されたりする場合があります。セキュリティについては完全はないようですが、ダイヤルアップルータで接続するほうが、TAで接続するよりもルータがきちんと設定することによって簡易なファイアウォールとして働くため問題は少なくなります。常時接続はいろいろなことができる可能性が増えるためそれに見合ったセキュリティ対策が必要となります。最低限コンピュータウィルス対策だけはしておいたほうがよいようです。

フレッツISDNのサービス開始によって、これまでCATVがなかったところでもインターネットへの常時接続ができるようになってきました。これからさらに高速な常時接続環境が広まっていくようで、これまで会社でしかできなかったWANの環境が個人的に構築できるようになります。21世紀になるともっと身近なものとしてインターネットが存在するようになります。(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 12月4日号

特集 捨てられる技術者

→企業を取り巻く環境は変化している。採算の合わない部門からの撤退、競合他社との提携など。その中で技術者はその劇的な変化に対応しているか。今日コアの技術が明日コアであり続ける可能性は少ない。持っている技術が不要といわれたとき技術者はどうするか。

○日経パソコン 12月11/25日合併号

特集 2001年のパソコン大予想

→21世紀となる来年パソコンはどうなるか。1GHz CPU、HDD 100GB、メモリの高速化、高速通信網の利用など環境が変わるかもしれない。それぞれのパーツに分けて2001年を大胆予想する。

特集 無料の壁紙スクリーンセーバーカタログ

→パソコンの見た目を変える壁紙、スクリーンセーバー。各メーカーのホームページからいろいろなものがダウンロードできる。

○日経オープンシステム 12月号

特集 狙われるWebアプリケーション

→不正侵入によりWWWサイトからのデータ漏洩などインターネットの事件が後をたたないが、Webアプリケーションのセキュリティホールが原因の場合が多い。狙われているWebアプリケーション。どのように不正侵入に対処すべきか。

解説 WWWサーバの体感速度を監視する

→WWWサーバの体感レスポンスを計測、分析できるツールがある。WWWサーバをサービスする際に動作状況の監視、レスポンスの遅い原因追求などができるが、製品としてはまだまだ高価。

○日経ネットビジネス 1月号

特集 登場「Java iモード」

→2001年1月ドコモの新端末「Java iモード」が登場する。Javaにより携帯電話はプログラムをダウンロードしパソコンを驚かすネット端末に進化する。携帯電話でゲームやチャットができ、リアルタイムで株価表示ができ、グループウェアが動く。

○DOS/V magazine 1月1日号

特集 PCパーツバトルロイヤル

→低価格ビデオカード、CD-R/RW、HDD、CPUクーラー、デュアルCPUマザーボードの各PCパーツに分けて各製品の比較検討。どこで品物を選ぶか。

特集 進化するPC DVDサラウンド環境

→PCでのDVD再生が簡単にできるがサウンドがという中で、DVDのもつ5.1chのサラウンド環境をPCで構築するにはどうするか。実際の製品紹介を含めて掲載。

特集 メールソフト乗り換え案内

→メールソフトのバージョンアップが相次いでいる。単にメールの送受信

するだけのものから多機能のものまで。あまり重要視されないメールソフト、今回乗り換えを考えるか。